わたしの仕事

足道楽
石塚彩人さん

痛みおさえ、歩きやすい中じき
一人一人状態聞き作る

お客さんの足に合う、靴の「中じき」を作る仕事をしています。痛みをおさえて、歩きやすくなるように手助けをします。

東京の「足道楽」という靴と中じきの専門店で働いています。店に来る人の足のなやみはいろいろ。ひざやかかとの痛みや、足の親指が人さし指の方向に、くの字に曲がってしまう外反母趾という症状も。「まずはお客さんの話をよく聞き、足や体の状態をたしかめます」

足の大きさや形が正確に分かる計測器や、足のうらの形を印刷できる道具を使います。「全部の指にうまく体重がかからず、小指のあとがつかない人は、足首の骨格がゆがんでいることがあります」

その人に合う中じきで、足をふくめて体が正しい姿勢になるようにします。樹脂という柔らかい材料などを使い、靴にも合わせて、店の機械で1時間ほどかけて作ります。ランニングシューズのように靴底があつければ、中じきはうすくてかまいません。

作って売って終わりではありません。定期的な点検も受け付けています。「おとろえから足の変化が早い高齢の人もいます。気軽に相談できる店にしています」

中じきは、年間で300以上作ります。3年ほど前、つえや歩行器を使っていた80代女性のお客さんが来ました。「その1カ月後、ゆっくりだけれど、自分の足だけで歩いている姿を見て、とてもうれしくなりました」

中じきを手に「お客さんから、ふだんの生活の様子もていねいに聞きます」と話す石塚彩人さん

わたしの歩み

足のことにとても関心があります。サッカー少年だったが、大学生でひざに大けがをして、今も痛むためです。中じきは、好きなスノーボードでブーツの中に使って興味をもちました。スポーツ用品店で働き、約4年前に今の会社へ。静岡市出身、29歳。

本物のレーシングカーを使って子どもたちがメカニックの仕事を学んだ体験イベント＝静岡県小山町の御殿場工場

本物レースカーでメカニック体験

Dステーション、静岡でイベント
清掃やタイヤ交換

ネクサスグループ（高崎市島野町、星野敏代表）のDステーション・レーシングは6日、静岡県小山町の御殿場工場で中学生以下を対象にした仕事体験イベントを開きました。家族を含む約400人が4組に分かれて本物のレーシングカーに触れ、モータースポーツの舞台裏を支えるメカニックの仕事を学びました。昨年に続いて2回目。

子どもたちは1台の車両がさまざまな部品からできていることを教わると、ボディーカウルやホイールなどを協力して清掃したり、メカニックの実演を手本にしてタイヤ交換に挑戦したりしました。

7月30、31日に大分県のオートポリスで開催されたスーパー耐久シリーズ第4戦ST－Xクラスで2位になった車両と、ST－1クラスで優勝した車両の2台を使用しました。

同グループの持続可能な開発目標（SDGs）の活動と社会貢献活動の一環。子どもたちの夏休みに合わせて行われました。

力を合わせて車両を磨く子どもたち。ピカピカにしました

ピュルルンの生きもの大好き 397

本物のキツツキを見るのは初めてです。北海道旭川市の旭山動物園。「北海道産動物舎」にならぶケージの中に、キツツキの仲間のオオアカゲラとアカゲラという鳥がいました。

しばらく見ていると、木に両足でつかまって、頭をふり、くちばしで木をつつきます。木をつつくからキツツキっていうんだって、なっとくしました。

同じケージに、キジバトやスズメ、ニュウナイスズメもいます。けんかしませんか？　担当の中野奈央也さんに聞きました。

「同じ種でも、別の種との間でも争いが起きることはあります。よく観察して、攻撃がはげしいようなら、その個体をこのケージからうつすこともあります」

オオアカゲラとアカゲラの見分け方は？

「ここにはどちらもオスが1羽いますが、オオアカゲラは頭全体が赤くて、アカゲラは後頭部だけが赤いんです」。じゃあ、さっき木をつついていたのはオオアカゲラだ。

ここで実際に虫を食べてるんですか？　「木にあいたあなや、くぼみに、わたしたちがエサの幼虫などを入れたりしています」。それをつついて出していたんだ。

「キツツキは木をつつくために、体のさまざまな部分を進化させています。ほかの鳥とどんなところがちがうのか、それが木をつつくのにどう役立つのか、いろんな見方で観察してみてください」

オオアカゲラ。木をつついて何かをとりだしたらしい＝北海道旭川市の旭山動物園

オオアカゲラ
木つつくため進化